

パブリック・アートの巨匠

ヘンリー・ムーア

彫刻庭園を征く

メイ〜



Henry Moore, Sheep Piece 1971-72
photo Menor. Reproduced by permission of the Henry Moore Foundation

農場にある ムーアのアトリエ



英彫刻家ヘンリー・ムーア（1898〜1986）の名を知らなくとも、ビッグベンのたもとやキングズ・クロス駅、ハイド・パークなどで、意識しないうちに彼の巨大で抽象的な作品に触れている人も多いのではないだろうか。英国内のみならず、日本の「箱根彫刻の森美術館」でまとまったコレクションが見られるのを筆頭に、ムーア作品は米国、メキシコ、ドイツ、サウジアラビアなど世界各地の公共スペースに設置され、街に彩りを添えている。

ロンドン中心部から北へ車で1時間半ほどの場所にある野外ミュージアム「ヘンリー・ムーア、スタジオズ&ガーデンズ」は、ムーアの世界観をもっとも感じられる場所だ。英国らしい田園風景と小さな集落とを交互にやり過ごしてたどり着く先は、豪華な門構えもなければミュージアムの看板もごく控えめ。巨匠が暮らした家と構えて訪れると拍子抜けするほど静かで平凡な場所にある。

彫刻家としての知名度を着実に高めてつづつあったムーアが妻イリーナとハートフォードシャーのこの静かな村ペリー・グリーンでの生活を始めたのは第二次世界大戦真っ只中の1940年のこと。当時42歳だったムーアが暮らしていたロンドン・ハムステッドの家が空襲に遭い、アトリエ部分が損壊してしまっただ。友人の家に出かけていたおかげで難を逃れた夫妻はしばらくロンドンを離れることを決め、引越してきたのがこの地である。

当初は、旧農家を借りて暮らしていたが、作品が自然風景の中に展示されることを好んだムーアは翌年、その家を購入。自然の中で得られる開放感が創造力を高めたことは想像に難くない。ムーアは周囲の土地と建物を買い進め、制作・展示環境を整えると、88歳で亡くなるまでここに暮らし、世界各地で人々に親しまれる『遺産』を数多く送り出したのだ。

モダニズム彫刻の先端をゆく芸術家として

世界に名を轟かせた英彫刻家ヘンリー・ムーア。

ハートフォードシャーの小さな町には、

彼が40年以上にわたって暮らした邸宅があり、

作品が点在する庭園とともに訪れる者を魅了している。

今回は、この野外ミュージアム

「ヘンリー・ムーア、スタジオズ&ガーデンズ」を征く。

光によって
見え方も変化!?



アートに触れて、感じる！
ムーアの世界へ



突進してくる
羊もいるので
御用心

運がよければ、羊が彫刻に群がる非日常の光景が見られるかも！



彫刻庭園に点在する作品は、定期的に展示内容が変わる。野外であるがゆえに、過去には盗難事件も発生した。

Who is Henry Moore?

彫刻家 ハンリー・ムーア

ヴィクトリア朝後期の1898年に、イングランド北部ヨークシャーの炭鉱夫の家庭に7番目の子として誕生。11歳のときに彫刻家ミケランジェロの作品に心を揺さぶられ、彫刻家になることを夢見るようになるが、父親の反対を受けて教師の職に就く。第一次世界大戦で従軍し、戦後、退役軍人への補助金を受けて、リーズそしてロンドンでアートを学ぶ。卒業後、アート・スクールで教鞭をとる傍ら、グループ展に参加するなどし、次第に目置かれる存在へと成長。30歳ときにセント・ジェームズ・パーク駅のビルの外壁を飾るレリーフ制作を手がけて以来、世界各地の公共の場所に作品を設置し、パブリック・アートの巨匠と呼ばれるようになる。1986年に88歳で死去。



© Allan Warren

Travel Information

2020年7月13日現在

Henry Moore Studios & Gardens

Dane Tree House, Perry Green,
Hertfordshire SG10 6EE
www.henry-moore.org/visit/henry-moore-studios-gardens

アクセス： ロンドンから北へ車で1時間半程度

オープン： 2020年11月1日まで
水～日・祝日のみ（月・火は休園）
午前11時～午後5時

入場料： 子供6ポンド、大人11ポンド **要予約**



自然と作品が共存する形で広がるムーアの世界を、じっくりと堪能してみたいか。

庭園には、ブロンズ製ながら黄金に輝くものもあれば、何百年もの歳月を経た銅像のような緑青色を帯びたものもある。また光の当たり方によって、個々の作品が異なる表情を見せてくれる。作品の周りをぐるりとまわってあらゆる角度から眺めたり、彫刻に触れたり、あるいは、奇妙な形と掴み所のない作品名をもとにそれが何を意図するか自由な発想を巡らせてみたりするのも有意義な時間となるだろう。

羊が集う巨大彫刻

70エーカー（サッカー場およそ26個分）の敷地は現在、後進の育成のためにムーアが生前に設立したチャリティ団体「ヘンリー・ムーア財団」によって管理されている。春から秋にかけて、ムーア夫妻とひとり娘メアリーが暮らした家（現在は閉館中）、制作の様子を知ることができるスタジオのほか、およそ20作品が展示される彫刻庭園が一般公開されている。